



# 鈴木(良)研 研究室紹介

---

鈴木良弥



# どんな研究をやるの？

---

- 自然言語処理
- 情報検索・抽出
- 音声言語処理

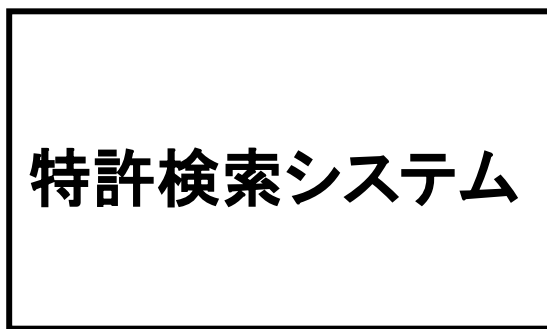
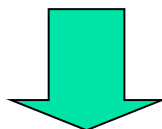


# 研究内容(卒論テーマ)

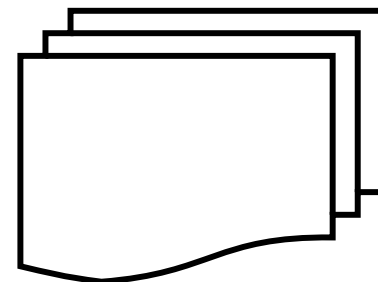
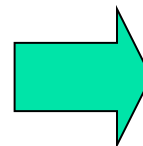
---

- 特許検索
- 新聞記事中の続報記事の抽出
- 新聞記事を対象とした質問応答システム
- 複数の新聞記事の自動要約
- 類語辞典の自動作成

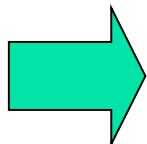
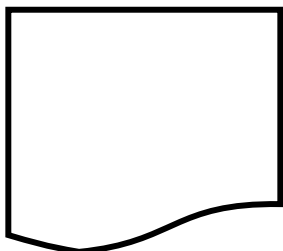
# 特許の検索



関連する特許が  
3つ見つかりました

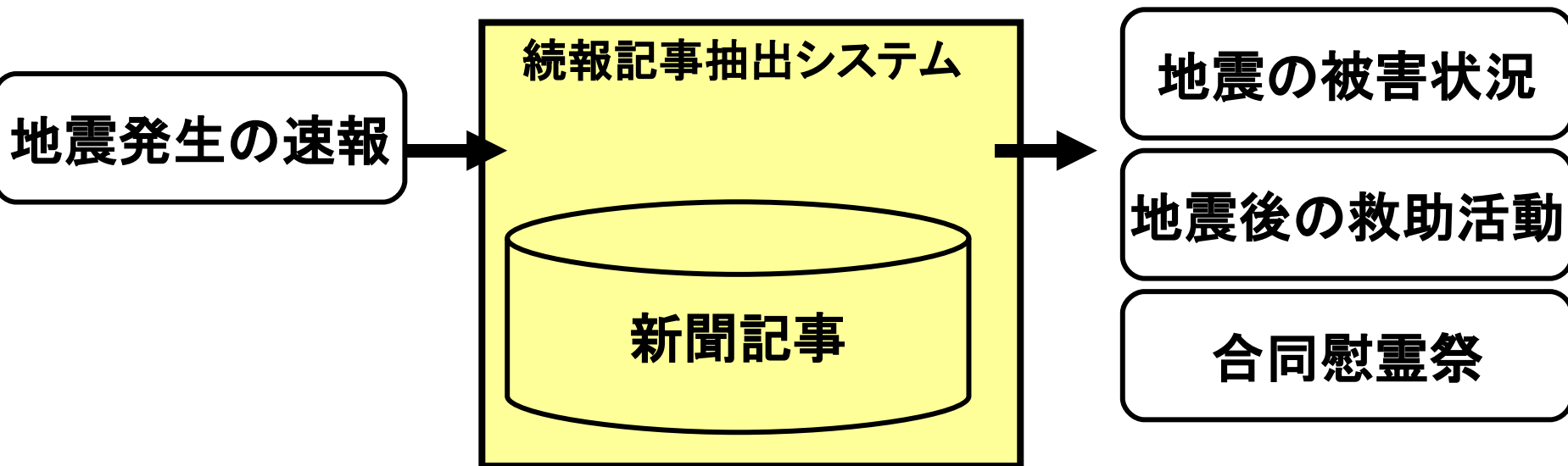


この研究と類似  
した特許はすで  
にありますか？



# 新聞記事中の続報記事の抽出

- 対象: 毎日新聞の記事, ロイターの報道記事やCNNニュース
- 入力: ある事件の初報記事
- 出力: 入力された初報の続報記事



# 新聞記事を対象とした複数記事の自動要約

阪神大震災の記事

要約システム

地震発生速報

被害状況

救助活動

合同慰霊祭

要約結果

阪神大震災関連の  
記事の要約

# 講演データを対象とした質問応答システム

問い合わせ

HMMを音声合成に利用している発表は？

QAシステム



回答

講演番号A5とB3です。

# 新聞記事を対象とした質問応答システム

## 問い合わせ文

2000年10月1日に合併することが決まった通信三社はどこですか。

## 質問応答システム

知識源  
毎日新聞記事  
1991-2007  
17年間  
約30GB

## 回答

DDI, IDO, KDDです





# 2007年度の卒業論文題目など

---

- 電子掲示板からの製品評価抽出システム
- カタカナ語のゆれを考慮した固有表現判定システム
- 「ネタバレ」を含まないあらすじ作成システム
- 旅行計画作成システム



# 2006年度の卒業論文題目

---

- 質問文の係り受け関係を考慮し、新聞記事の分類により回答候補の絞込みを行う質問応答システム
- シソーラス及び文書間類似度計算を利用した電子シラバス検索システム
- インターネット検索を用いた未知語分類システム
- Web文書からの特徴語抽出による映画検索システム
- ユーザーの関心事に焦点を合わせた掲示板要約システム



# 2005度の卒業論文題目

---

- シソーラスを用いた無効特許検索システム
- 重要文抽出結果を利用した新聞記事要約システム
- 前後の文節の情報を利用したカギ括弧内固有表現抽出システム
- Webディレクトリを使用した言語横断情報検索 - 日英映画情報検索システム -
- 曖昧な質問文に対応するシラバス検索システム



# 2004年度の卒業論文題目

---

- 質問文の書き換えを行うWebQAシステム
- 続報記事抽出のための記事間類似度を利用したSVM学習データの自動生成
- 疑問詞が省略された質問に対応するスポーツQAシステム
- 回答の信頼度を計算するQAシステム
- 新聞記事を用いた局所情報を活用するQAシステムの重み付け
- 日本語オンラインマニュアルを知識源とした質問応答システム
  
- 2003年度の卒業論文題目
  - 数値表現の細分類により回答候補を絞り込んだ質問応答システム
  - 係り受け解析を利用した質問応答システムの構築



# 研究に関連する講義

---

- オートマトンと言語(鈴木)
- アルゴリズムとデータ構造III(鈴木 今年から)
- ヒューマン・マシン・インターフェース(関口先生)



# 指定科目

---

- オートマトンと言語



# どんな学生に来て欲しいか

---

- ウィークデーには研究室に来る学生
  - ゼミのときに週報(研究内容と研究時間を記述)を提出する.
  - 月初めに月間計画表を提出する.
- 前述したソフトウェアを作成してみたい学生
  - 出来合いのツールだけを使って何かを評価をするという研究には重きをおいていません.



# 研究室で目指すもの

---

- 自分自身で研究計画を立て、遂行できる能力をつける。
  - 週報, 月間研究計画表
- 自分自身の限界に挑戦し、自分の潜在能力を引き出す方法を見つける。
  - ウィークデーの研究室での勉強, 合同ゼミ
- 友達とのコミュニケーションによって相互に高めあう方法を学ぶ。
  - ゼミ, 合同ゼミ, ウィークデーの研究室での勉強





## その他

---

- ゼミ:週に2回
- 研究室の場所:A-3号館5階
- 研究室の構成員(来年度)
  - 鈴木
  - 修士1年:2人
  - 新4年生: ?人
  - 研究生 :3人